

四万十川の再生と保全に関する調査特別委員会報告書

会 議 日 時	平成 2 4 年 6 月 2 6 日 (月) 1 3 時 0 0 ～ 1 5 時 3 0			
会 議 場 所	○議員控室 ○委員会室 ●仁淀川漁協 2 階 ○現 地 ○東別館			
出 席 者 数	委員 8 人のうち出席者 7 人			
出 席 委 員	委 員 長	橋 本 保	委 員	林 健 三
	副委員長	山 岡 義 正	委 員	森 健 吉
	委 員	岩 井 優之介	委 員	槇 野 章
	委 員	堀 本 伸 一		
欠 席 委 員	委 員	津 野 吉 得		
事 務 局	事務局	田 辺 卓	議 長	宮 地 章 一
説 明 者				
	仁淀川漁協 組合長	麻 岡 博		
傍 聴 者				
付 議 事 件	1. 仁淀川における「近自然工法」の取組み			
	2. 清流日本一に漁業組合が果たした役割			
審 査 ・ 調 査	1. 仁淀川に於ける「近自然工法」の取組み			
	○仁淀川の砂利採取禁止については、3 0 年前から国・県にお願いしてきた経過			
	がある。その成果として縮小はしたが全面禁止に至っていないのが現状である。			
	そうした状況の中で、荒廃した河川復元のために県に要望し「近自然工法」を			
	導入し3 年が経過した。鮎を中心に水棲動植物の繁殖が確認されているという報告			
	だった。			
	2. 清流日本一に漁業組合が果たした役割			
反 対 意 見	なし			
報 告 日	平成 2 4 年 6 月 2 8 日 (木)	委 員 長 署 名	橋 本 保	